

災害時に国土地理院が提供する地理空間情報

No. 8 垂直写真による正射画像(簡易オルソ)

Sample



鬼怒川破堤付近を拡大

平成27年9月11日撮影 茨城県常総市



熱海市伊豆山地区付近を拡大

令和3年7月6日撮影 静岡県熱海市

測量用航空機からデジタル一眼レフカメラで撮影した垂直写真(速報版)や測量用デジタル航空カメラで撮影した垂直写真を基に地図と重なるように歪みを補正した画像です。地図と重ね合わせることができるため、崩壊や浸水による被災箇所の確認に利用することができます。また、住所などの文字情報や記号を重ね合わせて表示することで被災状況を容易に把握することができ、現地での復旧、復興支援等、様々な利用が可能です。

災害時に国土地理院が提供する地理空間情報

No. 9 写真判読図

令和元年台風19号に伴う斜面崩壊・堆積分布図
丸森地区(宮城県白石市、角田市、丸森町、福島県相馬市、伊達市)

令和元年10月24日作成

Sample

凡例

- 斜面崩壊・堆積範囲
- 土石流堆積範囲
- 幹線道路

1. この情報は国土地理院が10月20日および21日に撮影した空中写真(撮影範囲: 長谷川)から、令和元年台風19号の豪雨により地土が崩壊した斜面崩壊等によりできた地形変化を判読したものです。現地実況は変化していないことから、實際に斜面崩壊等のあった箇所でもプロットできていない場合があります。令和元年台風19号による斜面崩壊等は判読範囲以外に発生している場合があります。

2. 地形変化の範囲は、斜面崩壊等で土形が移動、崩壊し種地化した範囲を一括してプロットしています。

3. 地形が変化した範囲を把握するための資料で、人家等に被害の無い範囲もプロットしています。

4. 道路、河川上の土砂は除去されている可能性があります。

0 1 2 3 4 5 km

国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

写真判読図とは、撮影した空中写真(斜め写真及び垂直写真)から被災箇所を判読し、その情報を地図上に重ね合わせて表示した図です。

現地の被災概況を地図上で見える化します。土砂流出、浸水域等の災害種別に合わせて作成します。

注) 判読後、新たに空中写真の撮影を実施し、新たな被災箇所があった場合、更新して提供します。

Catalogue No. 9

 国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan